

NSK安全の取り組み 活動報告

ACTIVITY REPORT 2018

Spring&Summer
Vol.07



NSK安全宣言

- 一、私たちは危険予知活動と指差し呼称を徹底します。
- 一、私たちは指示・作業手順を厳守します。
- 一、私たちは報告・連絡・相談を徹底します。

安全衛生月間目標（4月）

自己管理と作業の指導・監督

1. 自主的KYKの実施
2. 作業開始前の安全の確認
3. 作業中の指導・監督の実施

安全標語【第3位】

一に「健康」 二に「KY」 三に「気配り・思いやり」
みんなで作ろう 安全現場

EVENT SCHEDULE

イベント	4月	5月	6月
安全衛生委員会開催	4月20日	5月25日	安全大会開催
安全衛生教育 ・職長・安全衛生責任者教育（新規・更新） ・低圧電気取扱特別教育		随時開催	
危険予知訓練（TBM/KY研修） 社員・施工パートナー対象		随時開催	
安全大会	-	-	東京6/29・各地区
安全品質管理室主管安全パトロール	東京・他地区	東京・他地区	東京・他地区
施工パートナー安全衛生協議会	-	東京：5/15	-
全国安全週間（厚生労働省主唱）	-	-	準備月間

具体的な活動報告など裏面へ掲載 ⇒

COPYRIGHT©2018 NSK Corporation. All rights reserved.

NSK安全のための4つの施策

1 管理 安全パトロール

2018年度は各部門長が実施する安全パトロールに安全品質管理室が同行して、現場管理スタッフに出来るだけ具体的な指導を行うよう強化して参ります。安全品質管理室が同行した安全パトロール件数が2017年度は15件だったのに対して本年は倍の30件を目標にしており、毎月の安全衛生委員会で安全パトロールの報告を行っています。過去の安全パトロール結果にて実施者からの良かった点と指摘事項について報告の一部をご紹介します。

〈○良かった点〉

1. 十分な数のカラーコーンとコーンバーを現場に持ち込んで、資材置場や作業中エリアなどが大変分かり易く区画、整理整頓されていたので、第三者が安全に通行できていた。
2. ラック内の配線作業を行う前に、機器とケーブルに障害になりそうな箇所が無いが、『正常性の確認』を丁寧に実施していた。

〈×指摘した点〉

1. グリッド天井を外す際、手袋を着用していなかった。
⇒ 手垢が付かないように新しい軍手を着用するようにしてください。
2. 朝礼で健康確認が責任者からの一方通行だった。
⇒ 作業員一人一人から「健康です」と発言させるようにしてください。

(2017年度安全パトロール全国実績
1月~12月 合計：118件)



2 活動 各部門の取り組み 中国・四国地区

中国・四国地区での安全への取り組みを紹介します。

当地区では、安全品質の取り組みとして健康K Yを必ずT B M - K Y時に実施しております。



健康K Yの様子

どの地区でも実施している活動の一環ですが、地域性もあり山陰地区や高知県など広域に移動しての作業も多く、作業車で当日現地へ移動するのも日常茶飯事であり、長距離運転での移動で作業前に疲れることは否めません。

このような場合、対策として作業前に体を解す事や、作業員全員へ体調不良がないか職長が確認したり、作業中は小まめな休憩を促すなどの対策を講じております。

都心部では移動の際、渋滞に巻き込まれる事もありますが、同じく長時間運転すると注意力散漫となり、本人が注意しているつもりでも作業中の不注意で工具での怪我や脚立の踏み外し等の事故が起こりやすくなります。

事前の注意啓蒙と作業中の配慮で安全に心掛けて、お客様へより高い品質を提供して参ります。

3 対策 すこやか推進プロジェクト

NSKでは、“社員は財産！社員の健康なくして会社の発展なし！”という経営トップの方針の下、2011年7月に策定した「NSK心の健康づくり推進マニュアル」をベースに、社員のメンタルヘルスの維持向上など様々な取り組みをしてきました。

これからは、更に社員全員がより良い仕事を通してお客様に喜んでいただくために、社員の日々の健康、すこやかさを維持、向上していくことを目指し「すこやか推進プロジェクト」を立ち上げ、活動を進めて参ります。

2018年より「すこやか推進宣言」を掲げ、活動をスタートしています。

◆すこやか推進宣言◆

NSKは、「人と人」、「人と空間」、「人と未来」をむすぶという理念を達成するために、その達成を担う社員一人一人が会社のみならず家庭・地域社会において、すこやかに活動できるよう心と体の健康づくりを推進します。

2018年1月1日制定
NSK株式会社

今後も、すこやか推進プロジェクトメンバーを中心に具体的な活動や改善目標を掲げ、活動していきます。

4 教育 安全衛生教育

繰り返し教育する事で安全意識の向上に努めます

弊社では建設業として建業法、労働安全衛生法等の法や規則に規程されている許認可の取得、免許・技術認定者・教育修了者による施工管理を行う必要があります。

現場では社員が“現場責任者”として任命・配置され、お客様のご依頼内容により、内装、電気、通信、什器、設定作業等に対応する工事種別ごとに施工パートナーの中から職長・安全衛生責任者資格と必要な免許の有資格者を“職長”として任命し施工管理を行っています。

特に責任者として実際に現場で作業員を事故や怪我から守る為に安全管理業務を行う事はとても重要な任務です。2017年2月には職長・安全衛生責任者の更新教育を5年ごとに受講することが義務化され、今年は社員と施工パートナーで約200名が受講を予定しています。

建設業に従事する者が年々減少して行く中ではありますが、新任者への教育、高齢者への継続的な更新教育なども社員と施工パートナーへ実施し、安全で高品質な現場環境を構築することで、お客様にご満足いただけるよう努めて参ります。



Column コラム第7回

安全衛生委員会委員長よりご挨拶

平素より弊社の安全衛生活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。



弊社は創業より建築・内装・設備・IT分野においてお客様のご期待に応えるため、様々な場面で施工管理をおとして働く空間を造って参りました。施工管理を行いながら安全と安心を常にご提供していくために、安全衛生に力を入れて活動を行っています。例えば、安全衛生委員会を毎月開催し、新しい取り組みや安全診断などの情報共有、定期的な安全パトロールの実施、当社主導の安全・職長・低圧などの教育、6月は全国で安全大会を開催し、施工パートナー様と一緒に安全衛生活動に対して意識の高揚を図っています。安全、安心といった変わらぬ期待と信頼に誠実にお応えし続けていく事は、建設業に携わる企業の責任であると考えております。これからも安全衛生活動により一層、力をそそいで参ります。

これからのNSKにどうぞ期待ください。

NSK株式会社
安全衛生委員会委員長 新田 斉士



写真：千鳥ヶ淵の桜 2018.03.23撮影

NSK株式会社

〒102-0074
東京都千代田区九段南2-3-1 青葉第一ビル
<https://www.nsk-net.co.jp>
安全の取り組みバックナンバーはこちら
https://www.nsk-net.co.jp/?page_id=541